

第78回十和田八幡平駅伝競走全国大会 監督会議

日 時：令和7年8月1日（金）13時～

会 場：鹿角トレーニングセンター アルパス
アリーナ

【 次 第 】

1 開 会

2 出席者紹介

3 あいさつ

4 協 議

（1）最終オーダーの確認

（2）大会申し合わせ事項

（3）車両運行について

（4）質疑応答

5 閉 会

伴走車両及び大会関係車両

○全車両は、事務局より交付された小旗を前・後方から見える位置に必ずセットすること。

関係車両 黄色：伴走車（17台）
（60台） 赤色：競技役員車（32台） ※テレビ中継車（9台）を含む
青色：その他報道関係（11台）

○伴走車両は参加チーム1台とする。

※ A 3 版の「選手伴走車」の用紙を車内リアウインドウへ掲示すること。

【全線共通事項】

- 全車両は、走者より 10 m以上後方を走行すること。
- 全車両(特に伴走車両)の同乗車は、窓より上半身を乗り出す等の危険な行為をしないこと。
- 対向車等、一般車両との事故防止に十分注意を払うこと。
- 中継点における駐車位置及び走行中(特に交差点等)においては、警察官及び交通指導隊の指示に従うこと。
- 伴走車では絶対に選手収容しないこと。なお、各チームで行う場合(伴走車は不可)は最後尾の大会関係車両が通過後に、他の車両の支障とならないよう迅速に行うこと。
- 全線に関係する車両はスタートからゴールまで前照灯及びハザードランプを点灯すること。
追越しする場合は安全を確認の上、ハザードを消し、ウインカーを点滅してから追越し、追越し後再度ハザードを点灯すること。

特記：過去大会において、指定伴走車及び応援車両が情報提供や給水のため道路の中央線を跨いで走行するなど危険な走行が行われ、警察より指導を受けておりますので、可能な限り安全な方法での給水等を行ってください。

【スタート】

- 伴走車は競技開始10分前までに指定する場所で待機すること(発荷峠第2駐車場)。
- 伴走車は、1区(下り)での追越しを禁止する。ただし、選手同士の追い越しは左側走行で行うこと(中央線寄りには走らないこと)。

【大湯中継所】

- 中継所付近は赤の車両旗を明示した車両に限り指定駐車場に駐車できるが、駐車スペースが狭いため、赤の車両旗であってもできる限り駐車を避けること。
- 中継所は、事故防止のため最徐行で通過すること。

【花輪中継所】

- 花輪中継所への伴走車通過を認める(応援車両は進入禁止)。

○中継所は、事故防止のため最徐行で通過すること。

【熊沢中継所】

○中継所は、事故防止のため最徐行で通過すること。

【大沼決勝点】

○5区での追越しは禁止とする。特にアスピーテラインの坂道は見通しの悪いカーブが多いため、追越しは絶対にしないこと。

○審判長車、審判車、監察員車、計時員車、記録員車を除き、すべての関係車両は、警察官及び交通指導隊や関係役員の指示に従い、ゴール地点に進入せず、八幡平スキー場駐車場（旧グリーンホテル向かい）へ駐車すること。

監督・選手及び荷物輸送

◆8月2日（土）

【選手の荷物輸送】

○輸送が必要な荷物については、事務局より配布したビニール袋に入れ、選手名を書いて貼り、各中継所に用意してある荷物置場（ブルーシート）の上に必ず置くこと。

○事務局指定のビニール袋に入っていない荷物については運搬できかねますので、各自でお持ちください。

【走り終えた選手の輸送】

○車列の最後を選手輸送車（中型バス・小型バス）が走行するので、希望者は乗車のこと。コースの関係上、決勝点への先回りはできかねます。

【表彰式終了後の輸送】

○大沼発 ⇒ 鹿角花輪駅 14時30分（出発予定）、選手輸送車（中型バス）

大会申し合わせ事項

①外国人選手・外国人留学生の参加資格と出場枠及びコース順

- (ア) 日本陸上競技連盟寄付行為細則第25条により本大会への出場を認める。ただし、本大会での外国人選手・外国人留学生のエントリーについては2名以内とし、出場については1名とする。
- (イ) コース順は、ナンバーカード順とする

②競技運営注意事項と交通規制

- (ア) 競技者の健康面を考慮し、給水及び競技者保護のため1チーム1台「伴走車」を認める。
- (イ) 伴走車は競技者保護を目的とする。そのため、走者の後方10メートル以上離れて走行すること。
- (ウ) 伴走車は競技開始10分前までに、指定する場所で待機すること。
○指定場所：発荷峠第2駐車場
- (エ) 伴走車及び応援車両は各中継所において前後100メートル以内の駐停車は認めない。
- (オ) 競技者はいかなる場合でも、審判長又は審判員から競技中止を命ぜられたときは、その命に従わなければならない。
- (カ) 競技者は競技を中止させられた場合、当該チームのその区間の競技を無効とする。
但し、そのチームは審判長の指示に従い、次区間走者から再び競技を続行することができる。そのチーム全体の記録、成績は認められないが各区間の記録は認められる。
- (キ) 競技者はコースの左側端を走り、また交差点では交差点の中心から右に出てはならない。
- (ク) 「タスキ」は必ず肩から脇の下に掛け、必ず前走者と次走者の間で手渡しをしなければならない。
- (ケ) 競技運営上、途中区間内に制限時間を設け後方チームの繰り上げスタートを行う。
対象となる中継所及び繰り上げ時間は、下記のとおりとする。
■中滝中継所及び大湯中継所では、先頭走者通過より**10分**とする。
■花輪中継所及び熊沢中継所では、先頭走者通過より**20分**とする。
- (コ) 伴走車は、黄旗を車両の右側に遠くからでも見えるように掲示し、一般車両に進路を積極的に譲るとともに、必ず**前照灯及びハザードランプを点灯**すること。
- (サ) 各中継所付近及びコースのカーブ等での追越をしないこと（管轄警察署指導）。
1区及び5区での追越しは禁止する（管轄警察署指導）。

③大会当日の監督会議の場所・時間

- (ア) 十和田湖休屋スタート地点 時間：**7時30分**（併せて第1点呼）
- (イ) 最終オーダーの変更有無の確認
- (ウ) オーダーの変更ある場合は補欠との入れ替えのみとする。

第78回十和田八幡平駅伝競走全国大会 車両計画一覧表

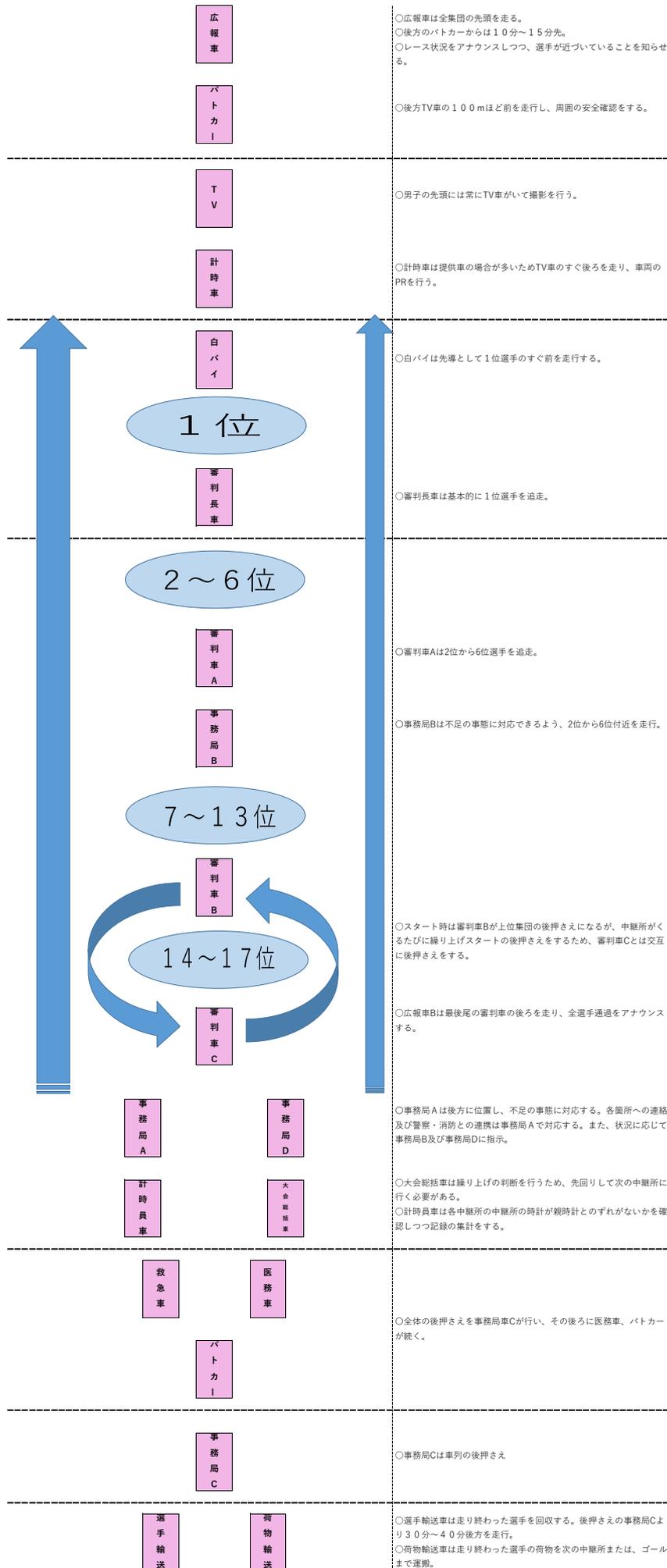
No.	旗の色	使用区分	車種	車番	車手配先	運転者	乗員
1	赤	審判長車 (男)	クロストレック	秋田301 つ 3792	SUBARU提供	中村 克也	山村 拓、長沼 優、阿部 義弘
2	赤	大会総括車A	プリウスPHV	秋田300 ま 2994	総務課	田原 智明	安田 真人、佐々木 明人、金澤 元
3	赤	大会総括車B	アウトランダーPHEV	秋田301 つ 2980	MITSUBISHI提供	似鳥 映	伊藤 雅博、田中 節夫、浅利 純子
4	赤	審判車A	フォレスター	秋田301 つ 7847	SUBARU提供	古田 渡	高杉 正美、泉澤 輝男
5	赤	審判車B (後押車)	アクア①	秋田501 わ 4853	レンタカー	小笠原 崇嘉	本館 久雄、長内 昭継
6	赤	審判車C (後押車)	アクア②	秋田501 わ 4969	レンタカー	兔澤 彰吾	下川原 常雄、菅原 義隆
7	赤	監察員車	フィットHV	秋田501 み 9105	総務課	菅原 良二	前田 金充
8	赤	計時車A	レイバック	秋田330 ふ 432	SUBARU提供	海沼 寿和	須田 大貴
9	赤	計時車B	トライトン	秋田100 せ 3554	MITSUBISHI提供	茂林 航平	大沢 了晟
10	赤	計時員車A	ヤリス①	秋田501 わ 3448	レンタカー	海沼 達哉	金澤 寛樹
11	赤	計時員車B・事務局車D	ヤリス②	秋田501 わ 3361	レンタカー	児玉 純哉	黒澤 香澄
12	赤	公式記録車A	ヤリス③	秋田501 わ 3291	レンタカー	島山 和穂	黒澤 昌基
13	赤	広報車A	アウトランダー	秋田300 ひ 9320	都市整備課	佐藤 大典	佐藤 美貴子
14	赤	事務局車A	シエンタ	秋田501 わ 5968	レンタカー	湯沢 友和	大里 伸之、青山 虎ノ介
15	赤	事務局車B	ノア	秋田501 わ 2383	レンタカー	渋谷 実	阿部 俊哉
16	赤	事務局車C	アクア	秋田501 に 234	産業活力課 (産業戦力班)	花田 恵貴	
17	赤	医務車	エステイマHV①	秋田331 と 2011	総務課	木村 真寿	鹿角広域行政組合消防署員、米沢 紗也加
18	赤	選手荷物運搬車	タウンボックス	秋田580 ち 7539	総務課	阿部 陸駆	
19	赤	選手輸送車A	市中型バス	秋田200 は 214	総務課	市総務課	児玉 竜司
20	赤	選手輸送車B	小型バス	秋田200 あ 296	さくら観光	さくら観光	
21	赤	交通部員車	プリウス	秋田300 は 788	生活環境課	島山 堅太郎	佐藤 智紀、平塚 拓也
22	赤	救急車	救急車	秋田800 す 119	鹿角広域行政組合消防署	消防署員	鹿角広域行政組合消防署員
23	赤	熊対策車	フォレスター	秋田301 さ 5330	農地林務課	農地林務課員	農地林務課員
24~30	赤	テレビ局中継車両 (7台)			AKT秋田テレビ		
31	青	報道関係車両			AKT秋田テレビ		
32	青	報道関係車両	エルブランド	秋田301 つ 9747	秋田魁新報社		
33	青	報道関係車両	フィット	秋田502 す 2073	読売新聞秋田支局		
34	青	報道関係車両	VX Advance	秋田301 ち 7233	読売新聞秋田支局		
35	青	報道関係車両	Mazda2	秋田502 す 9191	読売新聞秋田支局		
36	青	報道関係車両	レガシィ	秋田301 ち 107	読売新聞秋田支局		
37	青	報道関係車両	ヴォクシー	秋田330 な 1247	市広報		
38	青	報道関係車両	ジムニー	秋田581 け 7683	市内報道		
39	青	報道関係車両	タント	秋田581 す 262	市内報道		
その他	なし	決勝点設営車	2tアルミトラック	秋田100 わ 7678	レンタカー		
その他	なし	施設車	2tアルミトラック	秋田100 わ 7685	レンタカー		
その他	なし	施設車	軽トラ	秋田480 け 8492	総務課		
その他	なし	施設車	ADバン	秋田400 そ 6660	都市整備課		
その他	なし	式典表彰準備車A	ハイゼットカーゴ	秋田400 そ 6659	教育委員会		
その他	なし	式典表彰準備車B	シエンタ	秋田501 つ 5864	教育委員会		

第78回十和田八幡平駅伝競走全国大会

車列一覧表（男子／休屋 ⇒ 中滝）

区間	車列体系A（スタート直後）	車列体系B（湖畔沿いから）	車列体系C（発荷峠から）
中滝  休屋	TV中継車 1台 計時車 白バイ 2台 選手団 医務車 救急車 事務局車C 選手荷物輸送車 選手輸送車A 選手輸送車B	交通部員車 監察車 広報車 報道関係車両 TV中継車 1台 計時車 白バイ 2台 1位選手 審判長車 2～5位選手 審判車A 6～10位選手 審判車B 11～17位選手 審判車C 医務車 救急車 パトカー 事務局車C 選手荷物輸送車 選手輸送車A 選手輸送車B	1位伴走車 2～5位伴走車 6～10位伴走車 11～17位伴走車 大会総括車（追越車両） 審判車C（追越車両） 計時員車（追越車両） 公式記録車（追越車両） 事務局車A（追越車両）

第78回十和田八幡平駅伝競走全国大会車列図



○広報車は全集団の先頭を走る。
 ○後方のパトカーからは10分～15分先。
 ○レース状況をアナウンスしつつ、選手が近づいていることを知らせる。

○後方TV車の100mほど前を走行し、周囲の安全確認をする。

○男子の先頭には常にTV車がついて撮影を行う。

○計時車は提供車の場合が多いためTV車のすぐ後ろを走り、車両のPRを行う。

○白バイは先導として1位選手のすぐ前を走行する。

○審判長車は基本的に1位選手を追走。

○審判車Aは2位から6位選手を追走。

○事務局Bは不足の事態に対応できるよう、2位から6位付近を走行。

○スタート時は審判車Bが上位集団の後押さえになるが、中継所がくるたびに繰り上げスタートの後押さえをするため、審判車Cとは交互に後押さえをする。

○広報車Bは最後尾の審判車の後ろを走り、全選手通過をアナウンスする。

○事務局Aは後方に位置し、不足の事態に対応する。各箇所への連絡及び警察・消防との連携は事務局Aで対応する。また、状況に応じて事務局B及び事務局Dに指示。

○大会総括車は繰り上げの判断を行うため、先回りして次の中継所に行く必要がある。
 ○計時員車は各中継所の中継所の時計が観時計とのずれがないかを確認しつつ記録の集計をする。

○全体の後押さえを事務局車Cが行い、その後に医務車、パトカーが続く。

○事務局Cは車列の後押さえ

○選手輸送車は走り終わった選手を回収する。後押さえの事務局Cより30分～40分後方を走行。
 ○荷物輸送車は走り終わった選手の荷物を次の中継所または、ゴールまで運搬。

第78回十和田八幡平駅伝競走全国大会

監督会議補足事項

1 ゼッケンについて

数年前に風通しを良くするなどの目的によりゼッケンに穴あけパンチなどでたくさん穴を開けていたチームがあったとのことですが、ゼッケンに穴は開けないでください。

2 閉会式について

「八幡平ふれあいやすらぎ温泉センターゆらら」を会場に14時から行う予定となっております。閉会式時刻が決まりましたら、ビジターセンター駐車場及び「ゆらら」にて、アナウンス予定です。

3 熊出没時の対応について

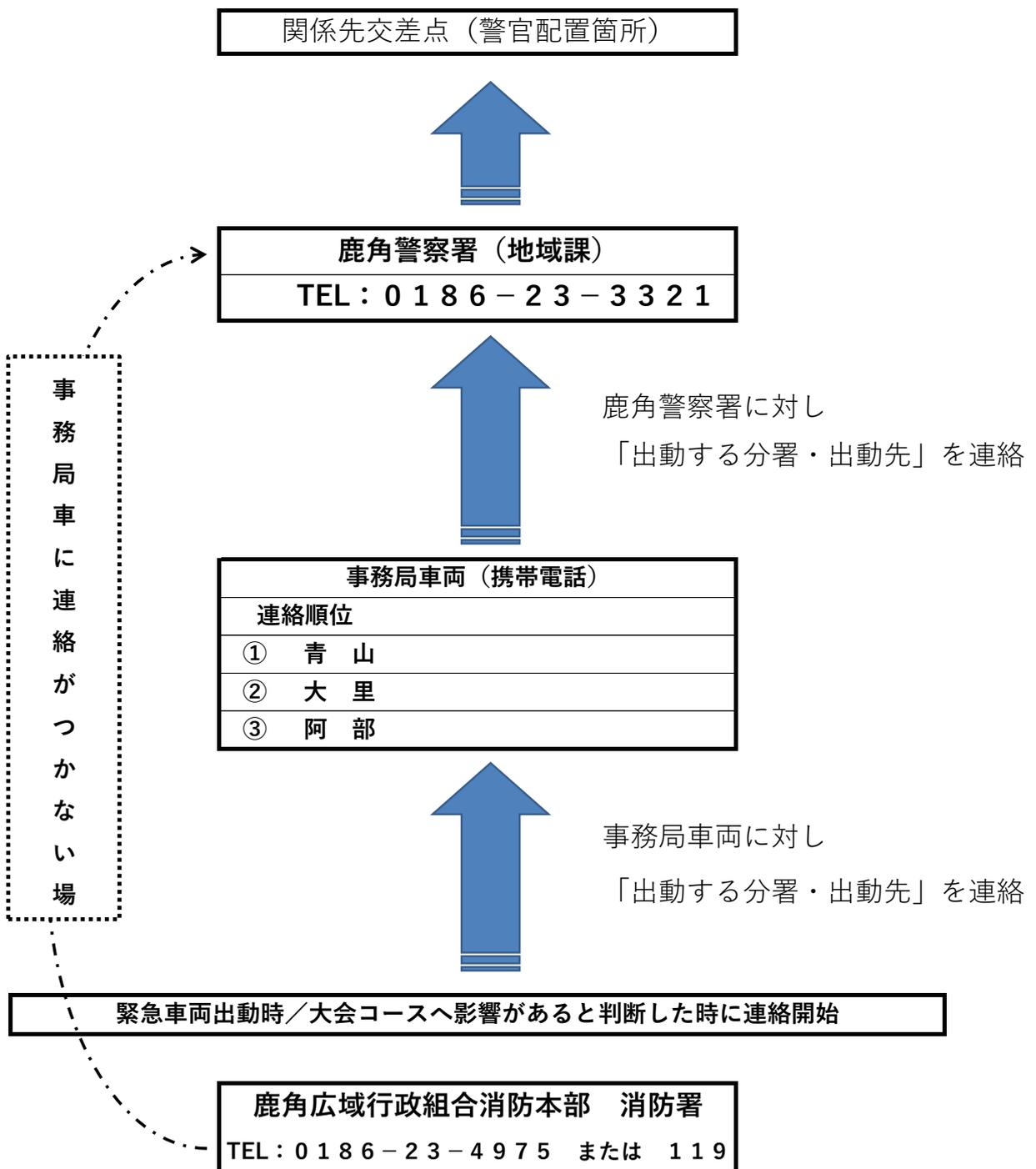
別紙のとおり

**第78回十和田八幡平駅伝競走全国大会
大会時救急車など緊急車両出動時の連絡体制について**

- ①緊急車両出動時に出動先が大会コース上を通過する場合、緊急車両とランナー・大会車両等が交差する恐れがある。
- ②この場合、大会運営に支障を来すほか、緊急車両自体が事故等危険性があることから、大会コースと緊急車両に交差の恐れがある出動時には以下の連絡体制で安全を確保する。

【緊急車両出動時】

大会コースへ影響がある場合／「出動先分署・出動先」を連絡



第78回十和田八幡平駅伝競走全国大会 熊出没時の連絡体制について

・大会業務中に熊の目撃があった場合は下記の体制で対応いたします

大会コースへ影響がある場合／「出没場所・熊の体長などの概要」を連絡

